

大阪港地震・津波対策連絡会議の今後について

- ・当アクションプランは10か年の計画期間をもって達成を目指してきたが、本年度、計画期間最終年度となり、物理的な制約などから達成が困難となったものはあるが、多くの項目については、概ね目標達成を図ることができた。残る項目については、引き続き検討を行うとともに、関係機関への協力要請をしていく。
- ・多くの項目は、仕組みづくりができたことで、達成としてきたが、具体的な取組みについては継続していくことが重要であるため、各機関においては、引き続きそれぞれの項目に取り組んでいただきたい。
- ・また、大阪港地震・津波対策連絡会議については、各実施内容の報告や意見交換の場として、各機関の実施状況が把握できるとともに、関係者間の連絡体制が確立され、有事の際に非常に有効となることから、来年度からも継続していくこととしたい。
- ・ただし、多くの項目は一定、方向性が確認され達成と評価してきたことから、大阪港地震・津波対策連絡会議の事前に行う小会議については、定期的には行わず必要に応じて開催するものとし、事前にアンケート等により意見集約した内容を、大阪港地震・津波対策連絡会議において確認をしていくこととしたい。
- ・今後、大阪港地震・津波対策連絡会議では、アクション項目の追加や、各機関の実施結果等により、検討が必要な項目について議論し改善を行っていくものとする。